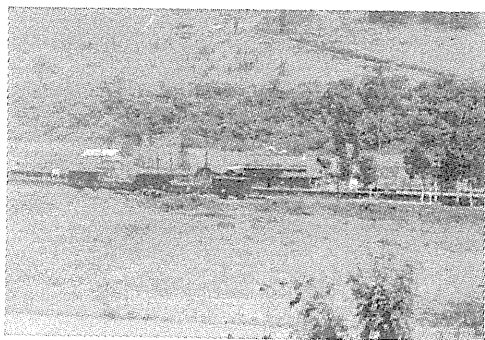


〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一
七二	七三	〇	四八	六〇六	五五八	七一三
三二	三五	〇	四八	一、二九七	一、二七七	一、二六一
				八八六	四八六	
				六八三		
				一、六六八		

鹿越駅 開駅は明治三十三年（一九〇〇）一月二日、金山駅と同じである。



水没前の鹿越駅付近（昭和38年頃）

駅名の起源は、アイヌ語「ユク・ルペンペ」（鹿の越える路）の意識で、鹿の山越えする路に、よく仕掛弓や罾をかけたからである（更科『アイヌ語地名解』）。  
当駅は、金山ダム建設により水没するため、昭和四一年九月二八日廃止となり、永い駅史を閉じた。  
歴代駅長は、次のとおりである。

歴代	氏名	歴代	氏名	就任年月
初	佐藤文治	一四	二瓶儀三郎	
二	別所 寛	一五	和田作蔵	
三	山本政太郎	一六	及川 富	
四	小原 復	一七	西畑芳雄	
五	新山謙太郎	一八	岡部 慎	
六	渡辺恭道	一九	浅野正三	
七	鈴木十郎	二〇	鳥津寛兄	
八	清水舜太郎	二一	日向武輝	
九	蜂須賀政義	二二	秋田秀雄	昭和 三〇・三〇三三四・二
一〇	高橋証三郎	二三	鈴木只雄	〃三四・三〇三七・二
一一	森谷健次郎	二四	菅野得時	〃三七・三〇三九・二
一二	西野 広	二五	工藤成治	〃三九・三〇四一・九
一三	岡田文雄			

鹿越駅歴代駅長

資料／『釧路鉄道管理局史』『鹿越駅資料』

東鹿越駅 開駅は昭和一六年一月二日である。駅名は鹿越の東に位置するので、東鹿越と名付けた。

昭和一六年の開駅時は信号場であり、二二年三月一日に一般駅となった。

当駅付近は石灰石の産地であり、信号場設置以前は、鹿越駅まで石灰石、荷物等は馬搬（冬期馬糞）によっていた。  
信号場の設置は、第二次大戦中、政府の戦争資材増産の命によ

り、輸送力の増強に迫られ鉄